

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
1005	西洋古典学 <Greek and Latin Classics>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)	開講期 Semester	開講時間帯 Day and time	
西洋古典学	吉武 純夫(YOSHITAKE Sumio)	前期	金曜：5限	
講義題目 Title	ソポクレスの悲劇・作品論			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	悲劇作品を考える意欲と、英語の論文を読む能力または努力が必要である。ギリシア語が理解できることが望ましい。			
授業の目的 Purpose	ソポクレスの悲劇『アイアス』のテキスト、およびそれについて書かれた論文を議論することを通し、作品理解を深める。とりわけ古代ギリシア人の英雄観、名誉意識の典型を学ぶ。悲劇を読む練習をしながら、論文を読む能力、議論の能力を身に付ける。 This course is to extend the understanding of the Ajax of Sophocles by discussing the text of the play and the papers on the play. Among others the Greek idea of hero and their sense of honour will be studied. The skill of paper reading and discussion will be acquired while the exercise of reading tragedy is done.			
授業の内容 授業の方法 Content	『アイアス』の和訳テキストおよびこの劇について書かれた論文6編の夫々を、2週間かけて検討する。当番の学生が論文の内容を論者に成り代わって紹介し、他の学生がその論考に対する質問をだして、当番の学生が論者の立場または自身の立場から答える。授業は論文講読の時間ではなく、議論の時間とする。 授業計画 1.イントロダクション 2.作品についてのディスカッション1：何を問題とした劇か 3.作品についてのディスカッション2：「叙事詩の環」にてらしあわせる 4.小林の論文「テウクロスの生まれとアイアスの埋葬論争」(2001)の検討1：内容紹介 5.小林の論文「テウクロスの生まれとアイアスの埋葬論争」の検討2：功績論、正嫡問題など 6.吉武の論文「アイアスの敵意」(1989)の検討1：内容紹介 7.吉武の論文「アイアスの敵意」の検討2：第三スピーチ、永遠化などの問題 8.Murnaghanの論文「Trials of the hero in Sophocles' Ajax」(1989)の検討1：内容紹介 9.Murnaghanの論文「Trials of the hero in Sophocles' Ajax」の検討2：アイアス裁判のドラマ性 10.P.E.Easterlingの論文「Tragic Homer」(1984)の検討1：内容紹介 11.P.E.Easterlingの論文「Tragic Homer」の検討2：ホメロスの英雄と悲劇的英雄 12.v.Erp Taalman Kipの論文「Athena's one-day limit in Sophocles' Aias」(2007)の検討1：内容紹介 13.v.Erp Taalman Kipの論文「Athena's one-day limit in Sophocles' Aias」の検討2：神託のディレンマ 14.C.E.Sorumの論文「Sophocles' Ajax in context」(1986)の検討1：内容紹介 15.C.E.Sorumの論文「Sophocles' Ajax in context」の検討2：ホメロスの理想と5世紀の現実			
教科書 テキスト Textbooks	『アイアス』のテキストは風間訳を基本とする。6編の論文はプリントして配布する。			
参考書 References	コメンタリとして、W.B.Stanford, Sophocles Ajax (1963 London); A.F.Garvie, Sophocles Ajax (1998 Oxford), P.J.Finglass, Sophocles: Ajax (2015 Cambridge). 叙事詩の環については、岡道男『ホメロスにおける伝統と継承と創造』(1988 創文社)。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	まず『アイアス』を読み、自分なりの理解をもつ。論文については、当番の学生もそれ以外の学生も、論文全体を読んで理解してくる。論文速読の練習だと思って読むように。絶えず作品に当たりながら、必要に応じてコメンタリーなども見る。			

成績評価の方法と基準 Evaluation	平常点(5割)と、レポート(5割)。作品の問題点をどれだけの確に把握し議論することができるか、また、論文をどれだけ正確に理解しているかを見る。
連絡方法 Contact information	電子メール： archaios@lit.nagoya-u.ac.jp